

原稿執筆について

1. 文体	・ 常体（である調）
2. 表記の基準	・ 常用漢字の音訓、および現代仮名遣いを基本とする
・ 漢字、仮名遣い	
・ 法令や引用文、参考文献	法令文、出典文、資料のままとする （例：あん摩マッサージ指圧師）
・ 国内地名と人名	・ 常用漢字の通用字体を基本とする （ただし固有名詞の使用も可）
・ 外国の地名と人名	・ 片仮名とする （ジョン・F・ケネディ等のミドルネームはアルファベットで）
・ 病名	・ 病気、身体諸器官の名称は、外国語以外は漢字あるいは平仮名とする
・ 国宝、文芸作品、物の名称	・ 固有名詞のまま
・ 平仮名の使用	・ 基本的に、代名詞（例：われわれ）、連体詞、接続詞、感動詞、助詞、助動詞は平仮名とし、副詞（例：青々と）は平仮名と漢字を使い分ける
・ 外来語	・ たばこ、かっぱ、かるたなど以外は片仮名とする
・ 数字	・ 横書き洋数字（アラビア数字）を基本とし、2桁1文字分とする（1桁の場合は1文字分） 4分の1、17,180人、90%、5学級、2000年 ・ 単位の多い場合、概数 約330億、100万円くらい、3万トン（千、百は使わない） 〔例外〕 四国、二重橋、数十日、一般に、二墨打

原稿執筆について

・日時、年号

・平成 16 (2004) 年 5 月 11 日
午前 11 時 26 分・長さ：メートル (m)

・数量、単位

・重さ：グラム (g) (1,000kg=1 トンも可)
・圧力：パスカル (Pa) ただし血圧は水銀柱 (Hg)
・温度：摂氏 (°C)
・面積：平方メートル (㎡)
ただし農耕地等はアール (a)、建築用地、敷地は坪も可
(1 a=100 ㎡、1 ha=100a、1 坪≒3.3 ㎡)
・体積：立方メートル (㎥)
ただし、液状物質の場合はリットル (L) も可
自動車エンジンの排気量は cc で表す
(1 d ㎥=1 L=1,000cc=1,000ml)

*cc : cubic centimeter、立方センチメートルの略

・速度：メートル毎秒 (m/s)、時速 (km/h) も可
・仕事量・熱量：ジュール (J) (4.186J=1 cal)
食品等で従来からカロリー (cal) を使用していて、そのままの仕様が好ましいものはカロリーを使用。ただし、従来の大カロリー (Cal) はキロカロリー (kcal) に統一
・百分率：パーセント (%)
%で表された数字の比較や増減は“ポイント”を使う
・千分率：パーミル (‰)
・周波数：ヘルツ (Hz)

補助単位

・デカ	(da)	10^1	・デシ	(d)	10^{-1}
・ヘクト	(h)	10^2	・センチ	(c)	10^{-2}
・キロ	(k)	10^3	・ミリ	(m)	10^{-3}
・メガ	(M)	10^6	・マイクロ	(μ)	10^{-6}
・ギガ	(G)	10^9	・ナノ	(n)	10^{-9}
・テラ	(T)	10^{12}	・ピコ	(p)	10^{-12}
			・オンゲストローム	(Å)	10^{-10}

例外：一寸の虫にも五分の魂、百八十度の方向転換

原稿執筆について

- | | |
|--------------|--|
| ・年齢（年令は不可） | ・20歳代、52歳（才は使用しない） |
| ・肩書 | ・〇〇〇〇東京大学教授
東京大学教授 〇〇〇〇氏 |
| ・敬称 | ・～氏、さん、君（高校生以下）、ちゃん |
| ・助数詞 | ・人（計〇〇人、名は使用しない） |
| ・引用符 | ・“ ” を使用 |
| ・繰り返し符号 | ・々 または 〃 |
| ・引用、参考文献について | <p>・出典の著作者名、発行年月日（「()」にくくって表示)、図書名（必要に応じて文章のタイトル)、出版社（者）名、（必要に応じて）ページを明記</p> <p>例1
山本眞一 村上義紀 野田邦弘編著（2005）新時代の大学経営
人材、ジアース教育新社</p> <p>例2（文章のタイトル、ページを書いた例）
上杉道世著（2008.6）大学職員を変える 19、文部科学教育通
信No.197、ジアース教育新社、pp. 18-19</p> |